

備前市事務事業評価表

事務事業名	広聴事業		コード	担当課	広報統計班
			05-01-01-01	担当者	坂本克文
事業実施期間	平成17年4月1日～		電話	64-1806	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	住民主体の協働のまちづくり			
	中項目	住民主体で進めるまちづくり			
	小項目	公聴広報			
	施策	広聴活動の充実			

事業について	
目的	より多くの市民等から意見を聞き、市民に役立つ行政事務事業に反映させる。
対象 (誰のために)	意見や要望を述べたい、あるいは、市からの情報を得たい住民。
内容	① 市内13箇所市政懇談会を開催し、569人の参加があり、意見・要望などを聞き、市政に反映。 ② あなたからのご意見箱・公共施設ご意見直行使・メール等ご意見が244件あり、質問には回答を実施。 ③ 備前市政記者会に対して必要に応じ記者発表を実施。

事業の結果													
実施項目		17年度											
		回数など	(単位)	回数など	(単位)	回数など	(単位)						
市政懇談会		13 箇所											
参加人数		569 人											
公共施設ご意見		1 件											
あなたからのご意見		35 件											
広報HPメール意見		208 件											
事業費 (単位：千円)		事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
		直接事業費	13	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
		人件費	3,830	受益者負担		人件費		受益者負担		人件費		受益者負担	
		合計	3,843	市債		合計	0	市債		合計	0	市債	
必要人員		0.44		人				人					
結果指標①	結果指標名	意見件数											
	結果指標量	244											
	単位	件											
	対前年比	—											
結果指標②	事業費	1,659,000		円				円					
	単位当たりコスト①	6,799		円				円					
	結果指標名	参加人数											
	結果指標量	569											
単位	人												
対前年比	—												
事業費	2,184,000		円				円						
単位当たりコスト②	3,838		円				円						

事業の成果			
成果指標名	意見に対する早い回答	式又は説明	ご意見箱・ご意見直行使・メールご意見など、質問に早く答え、市民の期待にこたえる。
成果指標量	なし		
対前年比	—	#VALUE!	
到達目標値	平均5日以内	到達目標年度	平成22年度

事務事業の評価		(平成17年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	課題認識 広聴の一つの市政懇談会は、13地区で実施し、延べ569人の参加で生活関連要望が大半を占め、質問と回答は108ページにまとめた。備前市政を語る意見は少なく、今後は回数を含め建設的な意見を聴取する懇談会（意見交換会）を検討する必要がある。 HPの意見等は、広報統計班を介したもののみに244件と多数であり、今後も市民等からの意見は増加すると考えられる。
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	広聴におけるコストの削減は人件費がかさみ易く難しい点がある。今後は、ご意見箱・公共施設ご意見直行使・メール等ご意見などの媒体を利用した広聴を推進し、効率化を図る。 市政懇談会事業については、平成18年度から広報統計班で行うこととなっているが、自治会連絡協議会担当が効率性が高い。
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	ご意見箱・ご意見直行使・メール等ご意見などの媒体を利用した広聴は有効である。 現在は迅速な回答に努めているものの処理日数は不明なので、今後は処理日数を明確にし、回答日数を短縮する。
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価		評価区分
コメント	HPメールやご意見箱等各種の意見聴取方法をとっており、多くのご意見が届き、届いている。	<A~E> C

今後の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	ご意見箱の回答を早くする。	平成19年度	早期回答が増え、市民が安堵・安心する。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。